

園芸市場情報

平成31年1月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407
FAX：03-5492-5407

謹賀新年 本年もよろしくお願ひ申し上げます



1月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

果実類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

花きは、入荷量は前年並、相場は前年並か！

<今月の写真>

* 年末・年始の市場風景 *

気象庁の暖冬予測は的中し、なかなか冬らしくならない年末になりました。野菜の入荷量は、台風の被害により少なかった昨年とは打って変わって潤沢な入荷となり、来場者からは、「年末の相場にならない。長年やっているがこんな年末は初めてだ。」などの発言も聞かれました。

花き市場では、年末の風物詩である松市や千両市が開催されましたが、生産者の減少等により入荷量は年々減少しているとのこと。特に千両の入荷は、台風被害などもあり極端に少なく、近年にない高値となりました。

さて、年始を迎えた初市は、御祝儀ムードもあり活発な競りで始まりました。

市場では、市場法の改正を受け各社が多様な動きを始めています。首都圏MCでは、流通の変化を的確に捉え、新鮮な情報を皆様にお届けするよう努力いたします。

皆様にとって今年1年が、宝船のように順風満帆な年となることを祈念いたします。



東京青果（株）に出荷された宝船



(株) 大田花きに出荷された宝船

生産者と市場関係者の夢と祈りを乗せ宝船は競られていきました

CONTENTS (目次)

I 青果情報	1項
12月(中旬まで)の経過	
東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格	
1月の見通し	
今月の青果物 特集「きゅうり」	
II 花き(切花)情報	6項
12月(中旬まで)の経過(販売経過、品目別経過)	
1月の見通し(ストック・カラー)	
11月の入荷量と単価の経過 <確定値>	
III 千葉県内市場における園芸品の市況概況	7項
11月の青果物と花き	
IV やっちゃんば閑話	8項
「変化の年が始まりました」	
V 首都圏掲示板	9項
青果専門小売業者を対象に「なばな産地見学会」を開催しました	
市場におけるドライバー負担軽減の取組	
正月の縁起物、松市、千両市が開催	

用語解説

園芸市場情報に使用する主な用語解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の幅を示す用語	平年並	: ±2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ±3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ±6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 11月下旬～12月中旬までの経過

気象	<p>12月に入って一時寒気が南下し気温が低下したが、期間をとおして全国的に平均気温が高い傾向で、西日本では降水量が多く、日照がやや少ない傾向であった。</p> <p>気温は、全国的に平年より高く、関東以西では特に高くなった。降水量は、関西以西では多い傾向で、北関東、東北、北海道の一部地域ではかなり少なくなった。</p> <p>日照は、東北の一部地域でかなり多く、関西以西では少ない傾向であった。</p>
----	---

野菜類

入荷量	<p>東京都中央卸売市場への入荷は、関東産、西南暖地産が主力となっている。</p> <p>好天が続き、気温も高く推移したため、心配された台風の影響からはほぼ回復した。生育が前進化した品目もあり、「ほうれんそう」「レタス類」などの品目では、入荷量は前年を大幅に上回った。</p> <p>野菜全体では、11月下旬から12月中旬の入荷量は128,905 t（前年比104.8%）と少なかった前年をやや上回った。</p>
相場	<p>暖かい日が続き、鍋物需要が鈍かったことなどから、「だいこん」「はくさい」などを中心に多くの品目で、価格は前年を下回った。また、潤沢な入荷が続いた葉菜類は、「レタス類」が前年比24.6%、「こまつな」が前年比28.8%となるなど高かった前年を大幅に下回った。</p> <p>野菜全体では、11月下旬から12月中旬の価格は209円（前年比73.3%）と高かった前年を大幅に下回った。</p>

果実類

入荷量	<p>「みかん類」「りんご類」「かき類」「いちご類」を中心に出回った。</p> <p>「みかん類」「かき類」「いちご類」は出荷が前進化した。「かき類」は11月までの前進出荷と台風の影響で前年を下回った。「いちご類」は、気温が高く生育が前進化したことによる反動と急な気温低下の影響等から12月中旬に主力の「とちおとめ」の入荷量が伸び悩んだ。</p> <p>果実全体では、11月下旬から12月中旬までの入荷量は46,858 t（前年比98.1%）と前年並となった。</p>
相場	<p>価格は、「みかん類」は早生種が本格出荷されたことで入荷が潤沢になったことと、これまでの高値の反動などから、不作で高かった前年をかなり下回った。「りんご類」は台風による下位等級の発生が多いものの、入荷量が少なかったことから、前年をやや上回った。</p> <p>果実全体では、11月下旬から12月中旬までの価格は403円/kg（前年比99.5%）と前年並となった。</p>

東京都中央卸売市場における入荷量と価格

平成30年11月下旬～12月中旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	11月下旬				12月上旬				12月中旬				11月下旬～12月中旬合計			
	開市日数 本年8日・前年8日				開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年8日・前年9日				開市日数 本年23日・前年24日			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	42,434	105.5	207	74.1	42,725	111.1	204	73.0	43,746	98.9	216	73.2	128,905	104.8	209	73.3
うち外国産	1,027	90.0	325	106.9	1,117	90.7	299	110.0	1,409	89.7	270	98.1	3,552	90.1	295	104.4
果実総量	14,835	96.5	341	100.4	15,585	104.0	404	102.3	16,438	94.3	457	97.0	46,858	98.1	403	99.5
うち外国産	1,222	98.5	217	104.2	1,106	104.4	224	103.6	1,150	91.9	239	104.4	3,478	97.9	226	104.0

主要品目一覧(都中央全体)

(単位:t、%、円/kg)

品目 (野菜)	11月下旬				12月上旬				12月中旬				11月下旬～12月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	3,954	106.1	49	39.6	4,008	119.1	43	33.8	3,621	95.0	43	31.2	11,582	106.2	45	34.7
にんじん	2,676	104.9	131	97.5	2,832	109.2	103	83.2	2,962	94.4	105	81.0	8,470	102.3	112	87.1
はくさい	5,136	95.1	36	34.4	4,642	94.9	36	38.4	5,511	96.5	39	39.8	15,289	95.6	37	37.5
キャベツ類	5,044	106.9	75	62.9	4,918	115.4	68	53.3	4,585	102.2	64	43.8	14,547	108.1	69	52.9
ほうれんそう	541	228.3	357	36.5	554	180.5	368	44.4	491	156.1	383	44.6	1,586	184.7	369	41.9
ねぎ	1,800	105.9	300	75.5	1,821	110.9	286	77.7	1,930	98.6	283	91.5	5,551	104.8	289	81.4
レタス類	2,573	174.5	114	20.1	2,743	176.6	138	29.4	2,921	171.9	121	25.1	8,237	174.2	125	24.6
きゅうり	1,575	118.2	331	67.4	1,535	118.4	344	69.2	1,015	66.5	604	114.1	4,126	99.3	403	79.5
なす	517	121.6	421	74.1	471	152.2	458	60.4	427	119.3	478	61.5	1,415	129.5	451	65.2
トマト	1,828	120.5	397	80.9	1,793	124.4	373	72.7	1,735	117.1	381	73.4	5,356	120.6	384	75.6
ピーマン	659	113.3	345	61.8	637	121.6	317	58.4	503	106.5	382	57.7	1,799	114.0	346	59.1
さといも	302	88.2	274	94.4	331	91.9	298	104.2	576	94.9	329	107.9	1,208	92.3	307	103.7
ばれいしょ類	2,060	85.2	121	112.3	2,240	85.3	120	107.3	2,702	89.2	117	106.2	7,002	86.7	119	108.3
たまねぎ	3,111	81.9	111	130.4	3,293	92.1	117	129.5	3,172	78.9	120	128.2	9,575	84.0	116	129.3
生しいたけ	303	112.6	847	76.4	313	125.5	801	72.5	287	110.4	911	80.8	903	116.0	851	76.4
かぼちゃ	694	66.0	282	181.6	723	65.8	249	138.0	1,092	77.9	251	135.1	2,509	70.7	259	147.9
さやえんどう	34	205.9	1,003	72.8	50	191.2	974	74.4	46	140.5	970	71.6	130	172.2	980	72.9
かんしょ	1,085	96.8	219	96.4	1,053	101.4	210	97.2	1,198	90.6	215	99.0	3,336	95.8	214	97.6
かぶ	625	134.4	102	58.3	592	124.2	101	62.9	634	142.6	101	53.4	1,851	133.5	101	58.1
ごぼう	337	78.3	287	128.6	291	78.1	323	133.0	444	98.1	327	122.4	1,072	85.4	314	128.0
こまつ菜	384	139.6	148	21.3	356	124.6	154	26.1	318	110.3	278	40.5	1,059	124.6	189	28.8
こねぎ	140	121.2	744	59.8	137	126.8	675	60.4	147	116.2	673	59.7	423	121.1	697	59.9
糸みつば	47	108.3	370	55.2	42	106.3	401	59.5	43	86.3	504	67.9	133	99.4	424	60.6
しゅんぎく	126	138.7	416	50.2	131	134.6	381	48.4	113	114.8	527	53.2	370	129.1	438	50.3
いら	234	110.5	671	62.8	212	113.9	725	62.5	218	104.5	807	61.7	664	109.4	733	62.2
セルリー	251	107.7	193	53.2	242	114.4	174	54.9	291	107.2	168	59.4	784	109.5	178	55.8
カリフラワー	152	152.0	217	68.7	179	145.0	210	73.1	161	175.0	232	60.1	492	156.0	219	67.5
ブロッコリー	1,100	146.3	314	65.8	1,204	150.2	297	68.2	924	149.3	355	60.5	3,228	148.6	320	64.8
サラダな	26	90.0	360	43.8	24	99.8	352	34.3	25	93.9	379	29.0	75	94.2	364	34.8
パセリ	20	111.1	944	56.0	20	108.5	958	47.4	26	100.7	1,127	46.5	65	106.1	1,020	48.8
チンゲンサイ	121	100.5	223	48.6	121	105.2	223	45.1	120	87.4	228	47.0	362	97.1	225	46.8
エンダイブ	6	120.8	488	57.1	6	126.0	447	50.8	6	129.8	484	46.0	17	125.5	473	50.9
ミニトマト	687	152.5	590	79.0	625	139.7	549	65.3	562	104.8	598	66.4	1,874	130.7	579	69.4
とうもろこし	2	259.1	420	127.5	2	134.1	435	91.1	1	125.0	440	96.7	4	169.5	429	100.1
いんげん	72	171.3	851	60.1	84	182.1	902	55.3	78	102.6	821	66.4	233	142.5	859	61.7
そらまめ	7	1098.3	1,008	78.7	17	579.0	740	55.9	33	366.8	552	47.8	57	453.9	665	55.4
えだまめ	7	55.1	1,144	111.5	9	81.5	1,155	108.0	8	92.8	1,233	112.0	24	74.0	1,177	111.0
やまといも	52	85.9	536	83.7	47	98.6	531	84.2	53	91.3	530	84.2	152	91.4	532	84.0
根しょうが	88	80.0	546	98.3	83	85.9	560	101.1	89	87.7	563	102.4	260	84.4	556	100.6
マッシュルーム	56	109.7	952	95.1	50	105.2	952	95.6	56	96.2	1,021	100.4	163	103.4	976	97.1

品目 (果実)	11月下旬				12月上旬				12月中旬				11月下旬～12月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
みかん類	8,090	103.4	262	93.1	9,178	111.2	293	93.9	10,067	98.5	310	90.5	27,336	104.0	290	92.1
(極早生みかん)	28	60.0	210	114.0	2	74.5	153	109.3	1	74.2	132	112.7	32	61.3	203	113.1
(早生みかん)	7,932	103.2	262	92.9	7,133	99.4	289	93.6	3,437	71.2	304	92.4	18,502	93.9	280	92.4
かんきつ類	441	102.8	414	97.1	768	115.1	520	95.5	1,002	92.5	484	95.1	2,211	101.4	483	95.8
りんご類	2,451	88.2	287	100.1	2,404	97.6	300	103.3	2,257	91.4	310	106.3	7,112	92.2	299	103.2
(ふじ)	1,922	86.5	288	101.5	1,977	96.8	285	100.9	1,788	88.0	286	101.5	5,686	90.3	287	101.3
いちご類	442	121.1	1,760	93.7	820	136.8	1,639	94.0	888	101.4	2,143	98.7	2,150	116.8	1,872	94.8
(どちおとめ)	346	121.8	1,605	89.9	499	128.8	1,508	94.6	473	88.5	2,157	102.1	1,318	109.3	1,766	94.5
(あまおう)	30	138.5	3,058	112.8	130	176.3	2,072	85.9	149	131.1	2,234	93.5	309	147.9	2,246	92.4
メロン類	157	98.9	994	103.6	193	138.8	1,015	75.2	209	100.3	964	79.8	559	110.4	990	84.7
(アールスメロン)	128	103.0	1,100	99.1	153	133.1	1,138	75.7	170	104.9	1,038	75.0	451	112.4	1,089	81.7
すいか類	43	107.3	236	98.9	39	105.9	271	105.8	44	91.9	268	105.7	126	101.0	258	103.4
(すいか大王)	42	104.4	229	97.0	39	107.6	270	108.0	44	102.8	268	114.1	124	104.8	256	106.5
日本なし類	81	53.5	330	112.9	66	62.6	355	100.3	68	69.1	372	101.4	215	60.5	351	106.0
ぶどう類	140	87.6	1,361	105.9	100	98.7	1,457	111.6	97	86.0	1,742	119.6	337	90.1	1,499	111.7
かき類	1,524	76.7	260	105.5	757	57.4	288	118.7	489	65.6	365	118.9	2,770	68.4	286	111.6

主要品目一覧(都中央千葉県産)

品目 (野菜)	11月下旬				12月上旬				12月中旬				11月下旬～12月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	2,499	117.0	47	38.3	2,210	123.1	42	33.4	1,798	89.8	42	30.4	6,508	109.7	44	34.1
にんじん	2,230	116.3	131	96.7	2,417	112.2	100	83.0	2,499	98.2	101	82.9	7,146	108.0	110	87.8
はくさい	2	13.2	44	32.4	0	4.3	60	49.3	1	32.9	54	52.6	3	13.3	49	38.5
キャベツ類	2,095	148.7	76	65.2	2,120	164.0	66	54.1	1,542	126.3	57	43.8	5,757	146.8	67	54.8
ほうれんそう	74	348.4	281	33.6	88	302.2	300	42.0	80	297.2	329	40.8	242	313.2	304	39.0
ねぎ	257	115.8	335	78.8	411	127.7	314	78.9	494	97.4	300	91.0	1,162	110.6	313	84.3
レタス類	73	111.7	139	29.8	111	164.7	134	31.2	144	129.4	130	25.5	329	134.4	133	28.0
きゅうり	215	132.8	333	70.4	319	140.5	342	69.0	173	52.9	532	101.8	707	98.7	386	76.7
トマト	202	115.9	358	83.7	178	116.3	324	68.8	117	90.0	358	76.8	497	108.7	346	76.3
ピーマン	3	173.7	521	77.5	2	176.2	547	87.9	2	212.8	590	79.9	7	184.2	549	81.6
さといも	27	60.3	270	103.4	36	70.6	277	113.9	60	76.1	306	116.5	123	70.5	290	112.9
かんしょ	609	99.6	200	93.5	590	103.7	191	96.8	659	99.1	187	98.6	1,858	100.7	193	96.3
かぶ	487	143.9	105	56.7	473	127.3	102	64.1	529	162.7	102	54.6	1,489	143.9	103	58.4
こまつ菜	25	179.3	188	34.4	24	183.3	183	37.1	21	101.6	247	47.0	70	147.1	204	39.0
しゅんぎく	39	157.3	430	50.7	46	153.3	395	49.5	46	130.8	529	55.1	130	145.7	452	51.7
サラダな	10	81.2	306	40.1	8	91.0	309	31.2	9	85.4	327	25.1	28	85.4	314	31.1
パセリ	13	117.2	723	46.5	12	105.5	683	34.3	15	94.7	913	35.7	40	104.3	784	37.2
ミニトマト	80	105.4	550	93.3	80	148.5	531	69.1	67	149.7	555	59.6	227	130.0	545	74.4
やまいも	30	79.0	541	86.7	25	80.9	550	89.5	26	68.1	545	87.8	82	75.7	545	87.9

品目 (果実)	11月下旬				12月上旬				12月中旬				11月下旬～12月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
メロン類	3	144.6	792	89.4	4	112.8	882	82.9	4	124.1	822	60.1	11	125.6	832	73.6
(アールスメロン)	3	143.1	794	89.7	4	112.6	883	82.9	4	124.1	822	60.1	11	125.1	833	73.7
日本なし類	0	27.6	286	100.3	0	30.7	320	86.0	0	70.2	302	97.8	1	38.9	302	94.7

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。 -は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料: 東京青果物情報センター速報

2 1月の見通し

野菜

関東と九州・四国の西南暖地が中心産地となり、多くの品目で順調な入荷が見込まれる。「だいこん」「ほうれんそう」など前進気味の出荷が続いた品目も、寒気によりペースは落ちつくものの、入荷量は少なかった前年を上回ると見込まれる。野菜全体では、入荷量は少なかった前年を上回る見込み。

価格は、「だいこん」「はくさい」「キャベツ類」など多くの品目で、引き続き、高かった前年を下回る見込み。また、絶対量の不足から12月中下旬に高騰した「きゅうり」も、高値の反動から価格を下げ、前年を下回ると見込まれる。野菜全体では、高かった前年を下回る見込み。

果実

「みかん類」「りんご類」「かんきつ類」「いちご類」の出回りが主体となる。

気温が高めに推移しているため、「みかん類」は前進出荷が続いており、主産各県から安定した入荷が見込まれる。「りんご類」は台風の影響で下位等級の発生があるものの、玉肥大は良好である。果実全体では、入荷量は少なかった前年を上回る見込み。

価格は、「みかん類」は入荷量が多く、高値だった前年を下回ることが見込まれる。果実全体では、前年を下回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (県内産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	↑↑	⇒	↓↓	↓↓	主産地は神奈川、千葉県。各産地生育は順調で、切れ目ない出荷が見込まれる。入荷量は少なかった前年を大幅に上回り、平年並の見込み。
にんじん	↗↗	⇒	↓↓	↓↓	主産地は千葉県。暖冬傾向で肥大が進んだため、太物中心の出荷が予想される。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、平年並の見込み。
キャベツ類	↗↗	⇒	↓↓	↓↓	主産地は愛知、千葉県。関東は生育が前進し、各産地順調な出荷が見込まれる。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、平年並の見込み。
ほうれんそう	↗↗	↘↘	↓↓	⇒	主産地は群馬、茨城県。これまでの前進出荷と寒波で入荷の谷が懸念される。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、平年をかなり下回る見込み。
ねぎ	↗↗	⇒	↓↓	↗	主産地は千葉、埼玉県。各産地生育は回復傾向で、太物の割合が増える予想。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、平年並の見込み。
レタス類	↑↑	⇒	↓↓	↓↓	主産地は静岡、香川、兵庫県。これまでの前進出荷の反動で入荷が一時減る予想。入荷量は少なかった前年を大幅に上回り、平年並の見込み。
きゅうり	⇒	⇒	↘↘	↘	主産地は宮崎、高知、千葉県。曇雨天の影響から、生育が停滞気味で肥大が遅い。入荷量は前年及び平年並の見込み。
なばな	↑↑	↘	↓↓	⇒	主産地は千葉、香川県。台風被害があったが、生育は回復傾向。入荷量は少なかった前年を大幅に上回り、平年をやや下回る見込み。
			増加	減少	

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 今月の青果物

きゅうり

主要産地のきゅうりの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	30年1月入荷量	30年1月シェア率
宮崎	1,950 t	41.3 %
千葉	916 t	19.4 %
高知	835 t	17.7 %
茨城	321 t	6.8 %

1月入荷予測	4,850t(前年比102.8%、平年比99.8%)		
1月価格予測	400円(前年比86.6%、平年比95.0%)		
1月市況予測	(上旬) 弱い ↘↘	(中旬) 保合 ⇒	(下旬) 強保合 ↗

今後の競合産地の動向は?

東京都中央卸売市場に入荷するきゅうりは、主に宮崎県、高知県の西南暖地と千葉県、埼玉県、群馬県等の関東の産地から入荷します。

12~2月は宮崎県、高知県産が大きなシェアを占めますが、3月以降は埼玉県、群馬県産の入荷が増えてきます。千葉県は1月の入荷量シェアの19%を占める主要な産地です。

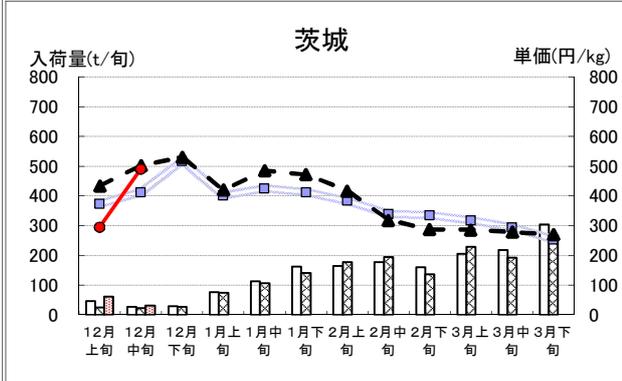
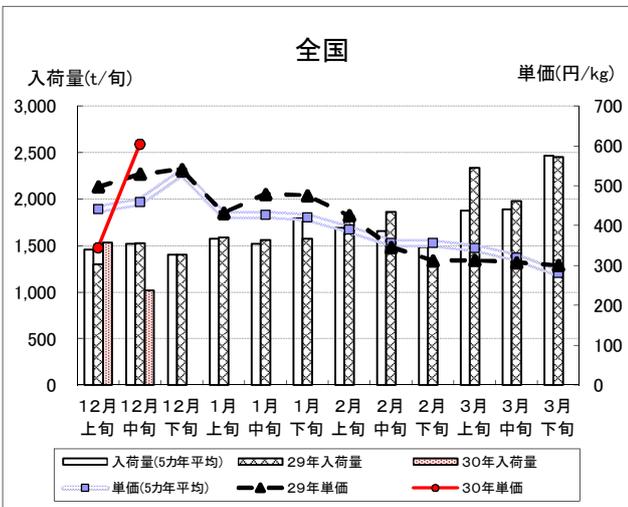
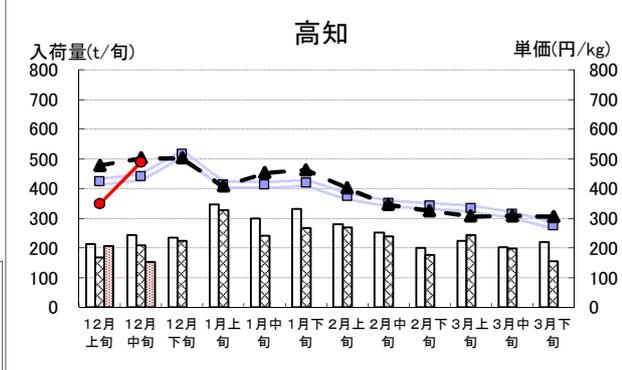
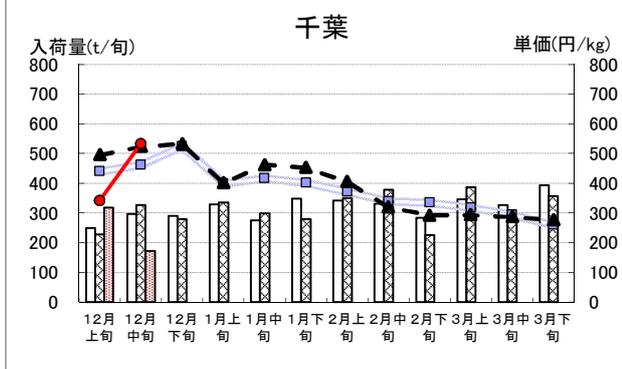
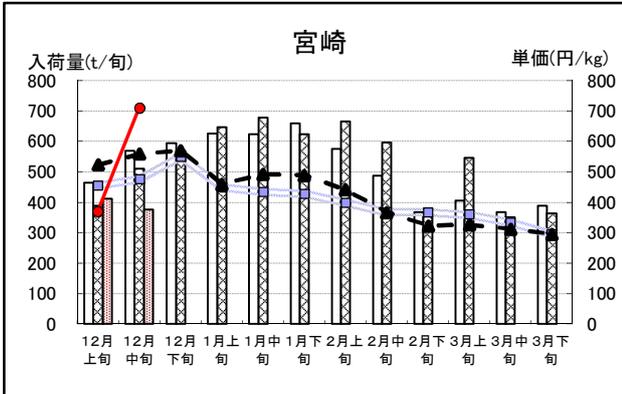
本年は、12月上旬まで各産地で前進出荷が続きましたが、12月中下旬は、曇雨天や気温低下の影響で入荷量が大きく減少し、それまでの安値基調から一転して価格が急騰しました。

1月の入荷見込みは次のとおりです。

千葉県産は日照不足のため、肥大が鈍化していますが、1月の入荷量は前年及び平年並の見込みです。

宮崎県産は曇雨天の影響から作柄不良で、1月も入荷量は平年を下回る見込みです。高知県産は12月の曇雨天で生育が遅れていましたが、1月は回復し平年並の入荷が見込まれます。

全体の入荷量は前年及び平年並の見込みです。価格は、12月中下旬の高騰の反動も予想され、高かった前年をかなり下回り、平年もやや下回る見込みです。



II 花き(切花)情報

12月(中旬)までの経過

気温高の影響で12月上旬までは生育が前進し入荷量が多く、厳しい販売となった。中旬以降は気温が下がり入荷量が平年より少なく、相場が上がった。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	12月上旬までは全国的な気温高により前進出荷となり、平年を大幅に上回った。一転して中旬は気温が下がり平年を大幅に下回った。期間全体では平年並となった。
相場	入荷が多かった上旬は平年をかなり下回ったが、年末に向けて徐々に上がっていき、中旬は平年並となった。
動向	12月9日に松市、16日に千両市が行われた。千両は夏の高温や台風被害の影響等で入荷数量が少なかった。

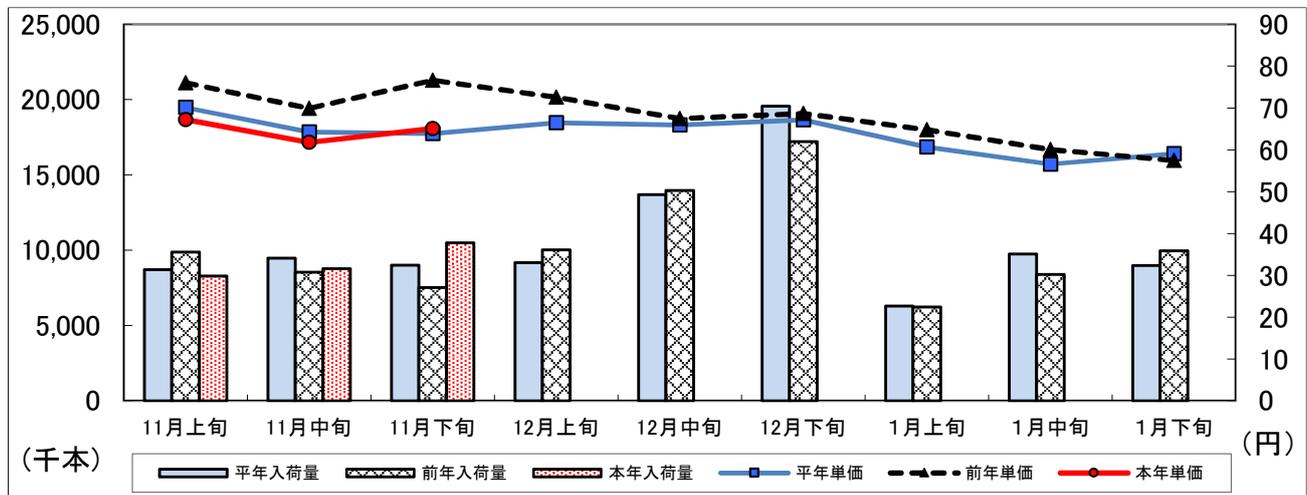
品目別経過

品目	経過	
スプレー菊	(株)世田谷花き	西南暖地が気温高く、入荷は前進気味の状況。下旬にかけて入荷減り、単価が上がった。
トルコキキョウ	東京フラワーポート(株)	気温が高く全体的に入荷は前進して少ない状況。価格に大きな崩れのない販売となった。
ストック	(株)大田花き	上旬は気温が高く前進化したため、数量が前年対比120%を越える出荷となった。中旬以降気温が下がり入荷量が減少し、単価が回復した。

1月の見通し

品目	見通し	
ストック	F A J	千葉県主体の入荷。出荷数量は前年並の見込み。相場は葬祭需要次第。
カラー	(株)大田花き	湿地性は千葉県、愛知県共に安定的な入荷の見込み。畑地は千葉県中心だが数量は多くない見込みで、ニュージーランド、台湾の輸入中心に切替っていく。

11月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株)大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3年の平均

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

青果物

単位：t、円/kg

品目	H30.11月				累計 (H30.1～H30.11月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
野菜	23,221	0.98	162	0.83	218,129	0.88	200	1.07
だいこん	3,373	0.90	55	0.57	28,083	0.87	101	1.16
にんじん	1,272	0.94	158	1.21	12,286	0.81	155	1.28
はくさい	2,787	0.98	52	0.68	16,583	0.88	93	1.08
キャベツ	3,629	1.00	74	0.83	37,104	0.83	99	1.15
ねぎ	675	0.74	300	0.91	7,401	0.80	346	1.10
トマト	805	0.88	444	1.09	9,729	0.79	368	1.09
きゅうり	610	1.16	312	0.68	7,774	0.82	321	1.13
ばれいしょ	1,138	0.88	113	1.13	13,382	0.95	109	0.68
たまねぎ	2,216	0.87	104	1.30	20,202	0.93	100	1.09
レタス	889	1.44	136	0.34	9,304	0.83	187	1.11
果実	5,472	0.90	274	1.04	50,238	0.88	362	1.09
みかん	2,257	0.87	220	1.00	7,550	0.81	272	1.14
かき類	1,011	0.89	231	0.99	2,609	0.87	258	1.12
グレープフルーツ	94	1.00	163	1.10	1,199	1.05	191	1.00
なし類	128	0.69	331	1.23	4,566	0.83	284	1.01
ぶどう類	75	0.77	936	0.99	1,431	0.88	878	1.07
いちご類	98	1.53	1,669	0.90	2,777	0.97	1,164	1.04
すいか類	3	0.87	330	1.05	4,873	0.81	221	1.08
メロン類	33	0.90	604	1.11	2,615	0.85	389	1.00
バナナ	426	0.86	155	1.13	4,513	0.81	163	1.14
りんご	870	0.90	265	1.01	5,717	0.88	316	1.16
その他	231	0.94	180	0.98	2,598	0.95	171	0.97
青果物合計	28,924	0.96	183	0.88	270,965	0.88	230	1.08

花き

単位：千本（千鉢）、円/本（鉢）

品目	H30.11月				累計 (H30.1～H30.11月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
切り花	1,297	0.42	60	0.84	23,894	0.55	61	1.05
きく	463	0.39	58	0.86	7,937	0.52	65	1.04
バラ	50	0.31	83	0.91	911	0.46	76	1.12
カーネーション	188	0.40	38	0.77	3,463	0.59	45	0.98
枝物	53	0.46	80	0.90	557	0.59	102	0.98
鉢物	194	0.93	125	1.05	1,214	0.93	133	0.99
その他	2	0.25	98	1.92	25	0.64	68	0.87
花き合計	1,546	0.46	69	0.93	25,690	0.56	66	1.06

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単価に満たないことを示す。

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

※平成30年4月1日から市川市地方卸売市場が民営化され調査対象外となった。

V や っ ら っ ば 閑 話

「変化の年が始まりました。」

明けましておめでとうございます。今年は5月に年号も変わるので、本当におめでたいと
寿ぎたいところだが、昨年来報道では、金融商品取引法違反で逮捕された大手N社の某G元
会長の話が取り沙汰されている。

報酬年額のうち10億円前後の記載隠し等々があったらしい。

へえ～10億円ねえ。庶民には実感のわからない金額なので、時給に換算してみた。

年間の労働時間を（年間52週×5日－国民の祝日16日）×8h＝1,952時間と仮定する
と、時給は512,195円となる。地方公務員の月額平均給与363,448円をはるかに超える水準
である。千葉県の最低賃金は、時間額895円であるので、約572倍の差がある。

本当は、20億円の報酬年額というから更に倍である。

さて、農業はというと、県の「農業経営基盤の強化に係る基本方針」では、効率的かつ
安定的な農業経営の基本的指標として1経営体当たりの所得を550万円以上としている。

経営形態により異なるが、露地野菜では、粗収益1,993万円、労働力3人、労働時間3,475
時間と設定している。この時給は1,582円である。

農業所得の向上には、この時給を上げるために、何を行うかが課題とされているところで、
コストの削減は、TPPによる自由貿易の開始に向けた最優先の課題となろう。

昨年末の国会では、外国人材の受け入れを拡大するために「入国管理法」の改正法案が
成立した。これに関連して政府は、建設業の外国人労働者の賃金について、同じ技能を持つ
日本人と同等以上の水準とすることを受け入れ企業に義務付けることを決めたそうであり、
農業を含む全職種に適用される。外国人労働力＝コスト削減のための「安い労働力」では
なくなるということか。先般アメリカへ農業視察に行った市場関係者から、「アメリカの
作業員の時給は2,000円を超えているぞ。」と教えていただいたが、これが国際相場か？

さて、コストの削減では、TBSテレビで放映された池井戸潤原作の「下町ロケット」で
も紹介された、自動走行トラクターなどスマート農業も今後の選択肢となろう。

数年前に柏市で自動走行トラクターのデモンストレーションを見た際には、まだまだ実用
は遠いなと思っていたが、2018年に国産GPS衛星「みちびき」4機体制の運用が開始され、
作業精度は格段に上がったということで、勢い現実味を帯びてきた。自動水管理システムと
の併用ができれば、米作は更に大規模化していく可能性がある。夜間の自動作業など今まで
とは全く違う新たな視点で、これからの農業を考える事も必要となってきた。わくわく
する半面、「家」による経営形態・家族での生産という姿が無くなって行く可能性に抵抗を
感じてしまう。

昭和、平成、〇〇と3つの時代を生きることとなると、昭和という響きは、さすがに古さ
を感じるようになってくる。「昭和生まれは頭が固い」と言われたいよう努力しよう。

それにしてもG元会長の時給は、どの日本人と同等以上であったのだろうか？その大きな
実績に見合う正当な報酬であったということか。

新しい時代を迎え、農業でG元会長の時給を超える者が現れることを期待したい。

(やっっちゃばヨットマンⅢ)

本年はラグビーワールドカップが開催されます！
ガンバル日本！

V 首都圏 掲 示 板



青果専門小売業者を対象に「なばな産地見学会」を開催しました

首都圏マーケティングセンターでは、県産農産物の販売促進の一環として、青果専門小売業者を対象に、12月2日に日本一のなばな産地である安房地域にて産地見学会を開催しました。集出荷場や生産ほ場の見学、調理提案、産地と実需者の意見交換を行い、中でもなばなの伝統的な荷姿である「人形巻き」の実演・体験は参加者から高い評価を受けました。また、情報交換会には地元の生産者10名が参加し、消費者へのPRや出荷規格について活発に意見交換がなされました。

産地見学会を通じて参加者からは、「産地の苦労や思いを知り、今まで以上に売り込みの言葉に力を込められる」「たくさんの調理法を知って、お客さんへの提案がしやすくなった」「人形巻きの大変さを知り、改めてその価値が分かった」などの感想が聞かれ、1月以降の本格出荷を控えたこの時期に、本県産なばなを強く印象付けることが出来ました。



生産ほ場にて、収穫と試食をしながら売り方を話し合う参加者



生産者と意見交換しながら、「人形巻き」に熱中する参加者



「簡単手軽」と「地元ならではの」をテーマに10品目のなばな料理を提案



なばな生産のこだわりや楽しみ、苦労を伝える生産者たち



市場におけるドライバー負担軽減の取組

大田市場の東京青果(株)では、市場におけるトラックの荷降ろし待ち時間解消を目的に、携帯電話・スマートフォンを利用した荷降ろしの予約システム（E-PARK予約システム）を試験運用しています。同システムにより、市場内での順番待ちがなくなるため、ドライバーの負担軽減につながると期待されています。

東京青果(株)における試験運用は2019年9月までで、試験運用で問題がなければ本格運用に移される予定です。また、同社では大田市場の各青果卸売会社や花き卸売会社にも同システムを紹介し、農産物物流業界全体のドライバー負担軽減につなげていきたいとのことです。



E-PARK 東京青果のスマホ画面 野菜用、果実用があります



正月の縁起物、松市、千両市が開催

東京都中央卸売市場では12月9日に松市、12月16日に千両市が行われました。特別な商材として普段休市である日曜日に行われます。

松や千両は、お正月飾りに使われる縁起物の花材です。松は長寿の象徴、千両は商売繁盛や富への願いがあります。健康でありたい方、宝くじを買った方は、ぜひ願掛けに飾ってみてはいかがでしょうか。

千両は今年の梅雨明けが早かったこと、夏季の高温の影響で実つきが悪く、また台風による塩害を受け、今年は下位等級が中心で入荷数量も特に少なくなりました。それに加え、松も千両も担い手不足が続いていて、入荷量が年々減少傾向です。買い手からは産地規模の維持が求められています。



ショーケースの松、千両



千両市の様子